

第60回  
三重県透析研究会学術集会

プログラム



会期

令和6年 3月10日(日)

会場

三重県総合文化センター  
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事

伊與田 義信

医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長

第60回  
三重県透析研究会学術集会

プログラム

会期

令和6年 3月10日(日)

会場

三重県総合文化センター  
多目的ホール

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

当番幹事

伊與田 義信

医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長

# ご 案 内

## 〈参加者の皆様へのお願い〉

- 参加受付は9:30より第1会場(多目的ホール)前にて行います。
- 参加費として、医師2,000円、コメディカル500円(学生無料)のお支払いをお願いいたします。

## 〈座長の先生へのお願い〉

- ご担当セッションの30分前までに座長受付までお越しください。
- 受付にて評価シートを受け取り、担当セッションの評価をお願いいたします。  
セッション終了後は評価シートを受付までお持ちください。
- ご担当いただくセッション開始予定10分前までに、次座長席周辺にご着席ください。
- 時間になりましたら、セッションの開始をお願いいたします。
- 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、ご配慮くださいますようお願いいたします。

## 〈発表者へのお願い〉

- スライド受付について
  - 全会場のスライド受付は9:20より第1会場(多目的ホール)前にて行います。
  - 受付時間は午前中のセッションは9:20～9:45、午後のセッションは9:20～13:00と致しますので時間厳守をお願い致します(混雑する場合は午前中のセッションの受付を優先する場合がございますのでご了承ください)。
  - 混雑が予想されますので余裕を持ってお越しください。
- 発表について
  - 発表時間は1演題10分(発表6分、討論4分)です。時間を厳守してください。
  - 次発表者は指定された席(次発表者席)に必ずご着席ください。
  - 発表はPower Point(パワーポイント)によるプレゼンテーション(Windows)、ファイルはUSBメモリーでお持ちください。PC持ち込み、Macintoshは不可と致します。
  - 会場ではWindows10、PowerPoint2019がインストールされたPCを使用します。
  - 動画を使用される場合は動作不良を起こす可能性がありますので各自動作確認を行ってからお持ちください。念のため、動画を使用しないスライドもご用意ください。

## 〈質問・討議される方へのお願い〉

ご所属、ご氏名を告げてから質問・討論を始めてください。

## 〈学会認定等のポイントについて〉

本学術集会への参加により、以下の単位が取得できます。

- (1) 一般社団法人日本透析医学会 専門医制度委員会が認める地方学術集会(5単位)
- (2) 日本腎不全看護学会 慢性腎臓病療養指導看護師(CKDLN)(6ポイント)

参加証は大切にご自身でお手元に保管してください。

尚、参加証の再発行は致しませんので、あらかじめご了承下さい。

# 会場アクセス図

## ◆アクセス方法

### 公共交通機関利用

#### 名古屋方面から

近鉄名古屋線：津まで特急利用で60分

#### 大阪(なんば)方面から

近鉄大阪線：津まで特急利用で110分

津  
駅

#### バス

津駅西口前のロータリー沿いにバス停があります。

・「総合文化センター行き・夢が丘団地行き  
(系統番号89)」乗車

・「総合文化センター前・総合文化センター」下車すぐ

#### 徒歩

距離1.8km、所要時間は約24分です。

三重県総合文化センター

### 車利用

三重県総合文化センターの駐車場は、無料です。

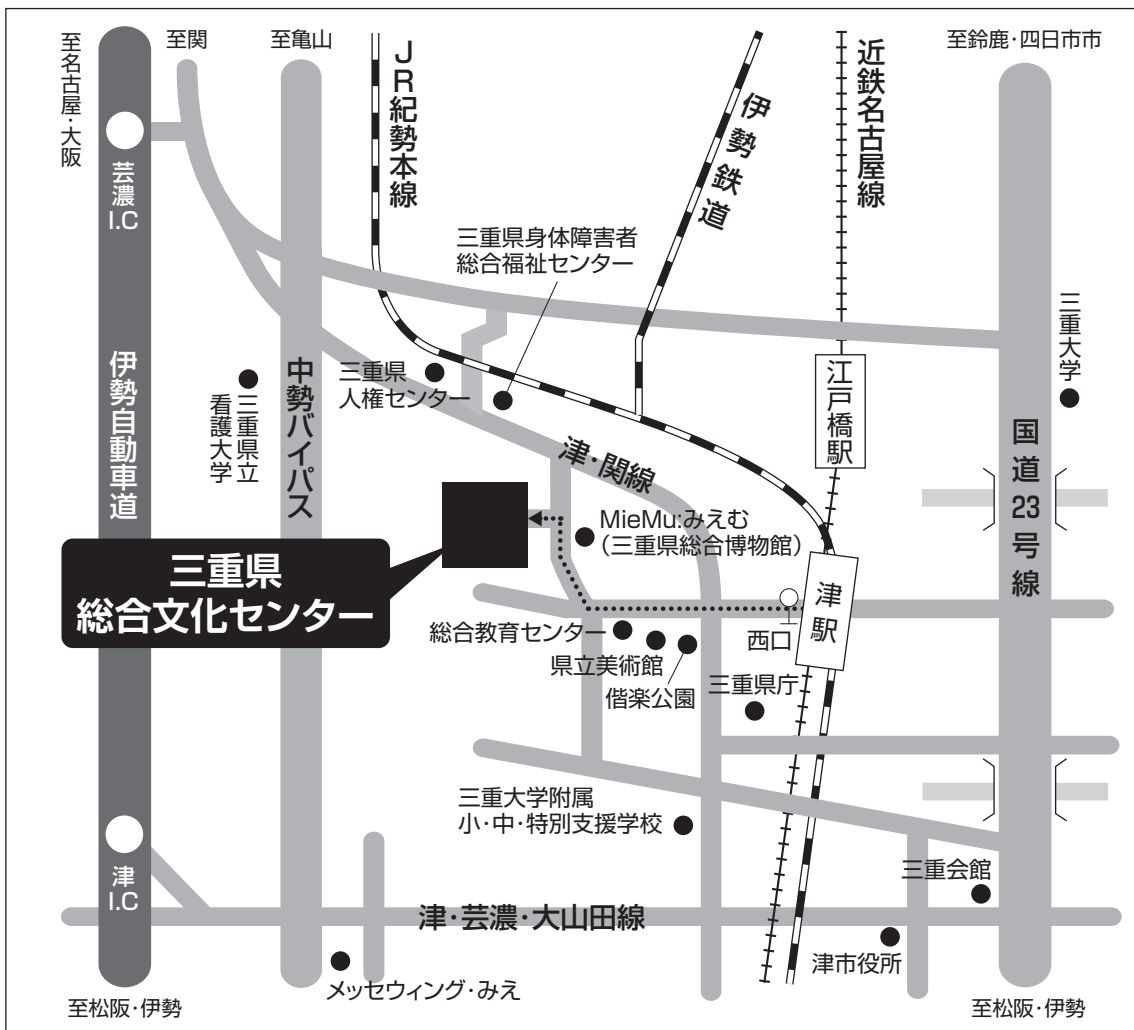
#### 高速道路

伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分

#### 国道23号線

国道23号線「県庁前」交差点から約2.8km、所要時間は約10分

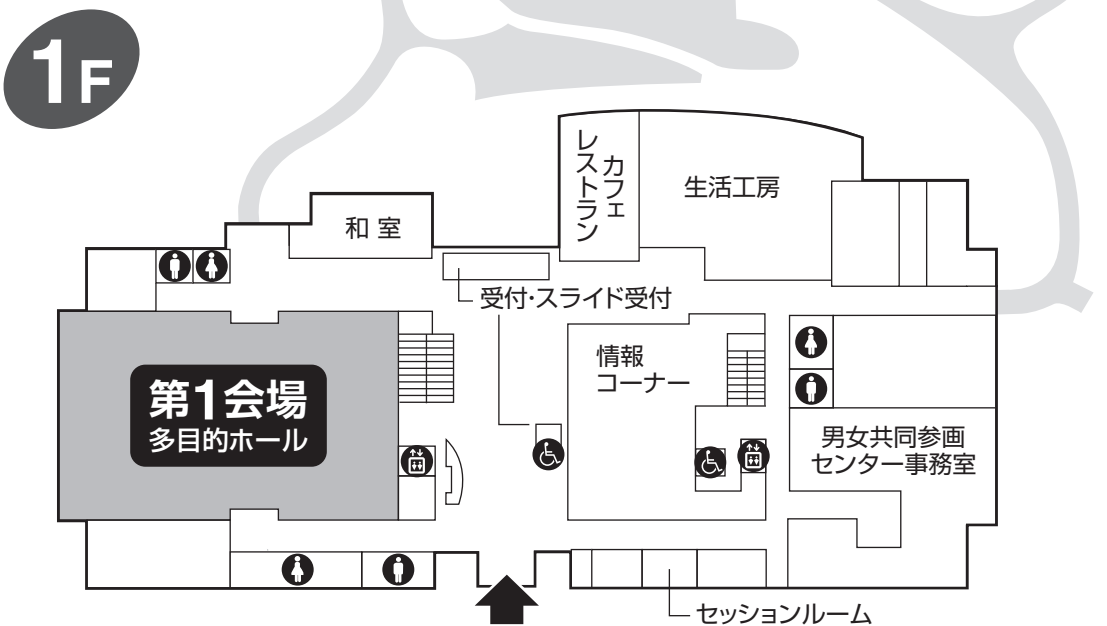
カーナビゲーションには、代表電話番号(0592331111)を入れていただくと便利です。



# 会場案内図



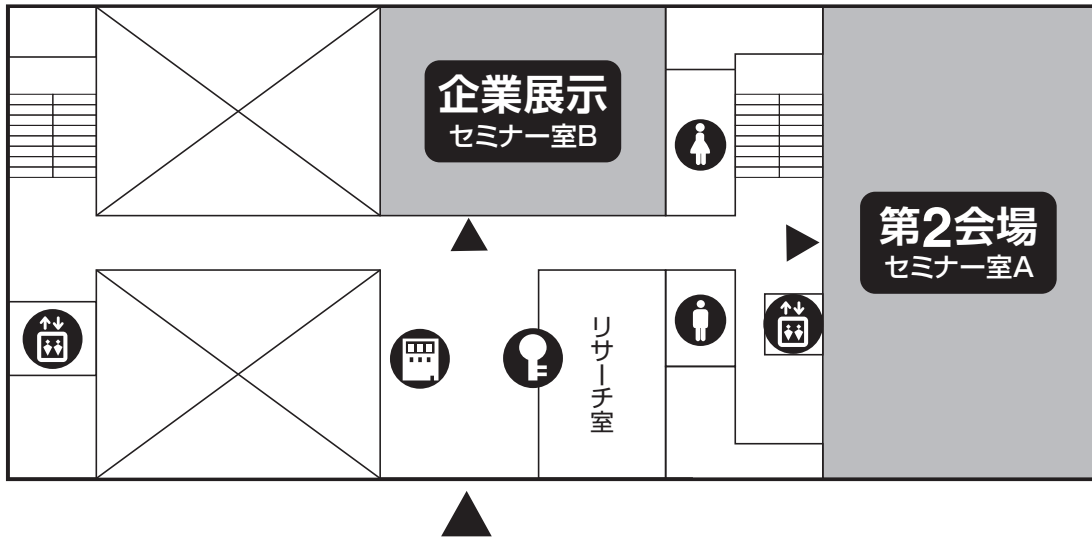
## 男女共同参画センター「フレンテみえ」



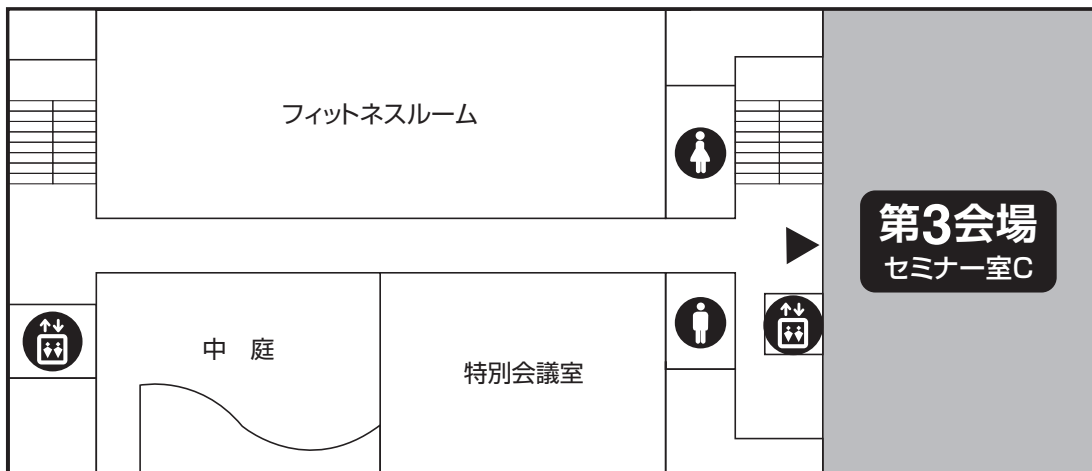
# 会場案内図

## 男女共同参画センター【フレンテみえ】

2F



3F



# 日 程 表

男女共同参画センター「フレンテみえ」

	第1会場 1F 多目的ホール	第2会場 2F セミナー室 A	第3会場 3F セミナー室 C	展示会場 2F セミナー室B
9:20	9:20～ 受付開始			
10:00	9:50～10:00 開会式 10:00～11:00 一般演題 1 VA 6 演題	10:00～10:50 一般演題 3 臨床工学技士 1 5 演題	10:00～10:50 一般演題 7 看護師 1 5 演題	10:00 } 15:00 企 業 展 示
11:00	11:00～11:50 教育講演 はじめよう！シャントエコー 小林 大樹 先生 (関西労災病院 中央検査部)	11:00～11:50 一般演題 4 医師・薬剤師 1 5 演題	11:00～11:50 一般演題 8 リハビリ・管理栄養士 5 演題	
12:00	12:10～13:00 ランチョンセミナー 1 共催：鳥居薬品株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー 2 共催：田辺三菱製薬株式会社	12:10～13:00 ランチョンセミナー 3 共催：キッセイ薬品工業株式会社	
13:00	13:10～13:20 災害対策部会 13:20～14:10 特別講演 シャント管理の基本的な 考え方をマスターしよう 春口 洋昭 先生 (飯田橋春口クリニック 院長)	13:30～14:10 一般演題 5 医師・薬剤師 2 4 演題		
14:00	14:10～15:10 一般演題 2 看護師 2 6 演題	14:10～15:10 一般演題 6 災害・感染 6 演題	14:20～15:10 一般演題 9 臨床工学技士 2 5 演題	
15:00	15:25～15:40 表彰・閉会式			
16:00				

# プログラム

## 第1会場 (1F 多目的ホール)

9:50～10:00 **開会式** 当番幹事 伊與田 義信(医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長)

10:00～11:00 **一般演題1 VA**

座長：下地 貴晴 先生(尾鷲総合病院 臨床工学技士)

### 1-1 シャントマップ作成により穿刺ストレス軽減への取り組み

○河田 満貴(CE)<sup>1)</sup>、三浦 真<sup>1)</sup>、森 寛貴<sup>1)</sup>、江角 浩安<sup>2)</sup>

1) 国民健康保険志摩市民病院 医療技術科 透析室、2) 同 内科

### 1-2 コニカミノルタ社製ポータブルエコー MX1αの有用性

○栗原 拓夢(CE)、福田 颯、岩戸 大、水谷 歩夢、日比 雅人、山中 伸吾、柴田 洋、小切間 猛史、山谷 美紗、長岡 里佳、板垣 正幸、三宅 智紀、波田 光司、笹井 直樹  
特定医療法人同心会 遠山病院

### 1-3 エコー下穿刺指導におけるカメラリンクの使用経験

○堤 陽平(CE)、三上 昌志、小川 明日香、坂田 久美子、伊與田 義信  
医療法人勢風会 津みなみクリニック

### 1-4 血液浄化療法におけるエコー下穿刺の有用性について

○水野 大貴(CE)<sup>1)</sup>、安江 一修<sup>1)</sup>、安田 芳樹<sup>1)</sup>、大原 さなえ<sup>1)</sup>、早川 沙希<sup>1)</sup>、土田 雅也<sup>1)</sup>、吉田 美羽<sup>1)</sup>、山下 浩輔<sup>1)</sup>、三宅 真人<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター 臨床工学部、2) 同 腎臓内科

### 1-5 VA 管理に超音波診断装置を導入した当院の取り組み

○加藤 幸子(Ns)、岡井 陽枝、堤 仁美、山下 和樹、中原 誠史、森 健太郎、本多 康裕、中西 道政、田之上 明子  
医療法人博仁会 村瀬病院

### 1-6 VA 管理について再考する ～エコーを導入して～

○山下 和樹(CE)、中原 誠史、森 健太郎、鈴木 絵巳、尾崎 博生、加藤 幸子、岡井 陽枝、本多 康裕、中西 道政、田之上 明子  
医療法人博仁会 村瀬病院



11:00～11:50 **教育講演**

---

座長：坂田 久美子 先生(医療法人勢風会 津みなみクリニック 総看護師長)

## はじめよう！シャントエコー

小林 大樹 先生 関西労災病院 中央検査部

12:10～13:00 **ランチョンセミナー1**

---

共催：鳥居薬品株式会社

座長：片山 鑑 先生(三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部 病院教授)

## 腎性貧血治療の発展と課題 ～服薬管理がより重要な時代へ～

満生 浩司 先生 医療法人原三信病院 腎臓内科部長

13:10～13:20 **災害対策部会**

---

13:20～14:10 **特別講演**

---

座長：伊與田 義信 先生(医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長)

## シャント管理の基本的な考え方をマスターしよう

春口 洋昭 先生 飯田橋春口クリニック 院長

14:10～15:10 **一般演題2 看護師2**

---

座長：濱口 幸美 先生(市立伊勢総合病院 透析室 看護師長)

### 2-1 当院における患者教育パスの再編を試みて ～指導の抜けを防止するための業務改善～

- 坂本 裕美(Ns)、岡田 昌洋、清水 祐子、野崎 みず恵、村田 鮎美、藤田 百合亜、  
廣岡 佑香、金澤 明子、山邊 裕子、豊岡 美咲、竹澤 有美子  
医療法人友和会 たけざわクリニック

### 2-2 当院におけるフットケアの取り組み

- 清水 美希(Ns)<sup>1)</sup>、伊藤 喜代子<sup>1)</sup>、坂下 美香<sup>1)</sup>、岸 隆司<sup>1)</sup>、森 寛貴<sup>2)</sup>、江角 浩安<sup>3)</sup>

1) 国民健康保険志摩市民病院 看護科、2) 同 医療技術科 透析室、3) 同 内科

## 2-3 透析クリニックにおける看護師の災害時対応

～透析中に停電を経験して～

○村田 知佳(Ns)、東 文香、中瀬 千幸、三上 昌志、坂田 久美子、伊與田 義信  
医療法人勢風会 津みなみクリニック

## 2-4 当院における高齢透析患者の ADL 低下対策

○岡 隆子(Ns)、大谷 ひろ子、中村 いつ子、畦智 美紀、下地 規夫、土谷 比奈子、  
中西 朋代、汐崎 くるみ、和平 智子、田垣 恵美、箱棟 弥希、前地 三枝、越村 邦夫  
医療法人淳風会 熊野路クリニック

## 2-5 ADL が低下した患者に腎臓リハビリテーション介入した一例

○加藤 綾(Ns)<sup>1)2)</sup>、古川 亜衣<sup>1)</sup>、柳瀬 久美子<sup>1)</sup>、村林 麻子<sup>1)</sup>、竹内 美由紀<sup>1)</sup>、  
藤田 佳樹<sup>1)</sup>、吉見 美穂子<sup>1)</sup>、小林 薫<sup>1)</sup>、伊藤 豊<sup>1)</sup>、河出 恭雅<sup>2)</sup>  
1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

## 2-6 当院における腎臓リハビリテーションの取り組み

○豎谷 京子(Ns)、根本 和門、岩田 航弥、出口 美緒、杉野 達也、古郡 和徳、田矢 理子  
三重北医療センター 菰野厚生病院 血液浄化センター

15:25～15:40 表彰・閉会式

**3-1 ムズムズ脚症状改善のために種々の透析条件の変更を試みた夜間透析患者の1例**

○村上 正憲(CE)<sup>1)</sup>、片岡 勇一<sup>1)</sup>、園田 光一郎<sup>1)</sup>、島ノ上 遥<sup>1)</sup>、堀 志津生<sup>1)</sup>、大西 麻衣<sup>1)</sup>、  
八幡 一輝<sup>1)</sup>、橋本 拓也<sup>1)</sup>、園田 直樹<sup>1)</sup>、玉村 美恵<sup>1)</sup>、益子 久美<sup>1)</sup>、松村 典彦<sup>2)</sup>

1)医療法人康成会 ほりいクリニック 透析室、2)同 内科

**3-2 アベレ社製 ACT 測定装置 CA-300 を使用した適正抗凝固剤の検討**

○石田 歩実(CE)<sup>1)</sup>、上野 俊<sup>1)</sup>、本多 越次<sup>1)</sup>、伊藤 章人<sup>1)</sup>、岩井 勇樹<sup>1)</sup>、奥村 直政<sup>1)</sup>、  
渡邊 知美<sup>1)</sup>、増田 智広<sup>2)</sup>

1)医療法人尚豊会 みたき総合病院 診療部、2)同 内科

**3-3 東レ社製透析液排液モニターの有用性について**

○松本 大介(CE)、渡邊 弘毅、小崎 真理子、山本 真一、綿井 幸司、谷田 精久、  
山本 芳央、亀田 陽一

医療法人泉澄会 亀田クリニック

**3-4 治療日毎における $\Delta$ BV%と総除水量、収縮期血圧の関係について**

○渡邊 弘毅(CE)、松本 大介、小崎 真理子、山本 真一、綿井 幸司、谷田 精久、  
山本 芳央、亀田 陽一

医療法人泉澄会 亀田クリニック

**3-5 当院における閉塞性動脈硬化症に対する吸着型血液浄化器レオカーナの使用経験**

○服部 航也(CE)、山田 大、渡邊 智裕、高橋 大貴、戸登 昭良、広瀬 梧郎、佐藤 将史、  
野村 祐輝、宮坂 佳裕、加藤 佳史、宇佐美 俊介、小嶋 岳人、奥田 祐希、山口 翔、  
奥田 将

医療法人 永井病院 臨床工学室

**4-1 流涙及び視野異常を契機に診断した左腕頭静脈閉塞症を疑う一例**

○増田 智広(Dr)<sup>1)</sup>、金 純<sup>2)</sup>

1)医療法人尚豊会 みたき総合病院 内科、2)同 外科

**4-2 透析患者に対するリン制限食 ビーガン変法食の効果**

○福井 淳(Dr)

医療法人 ハートクリニック福井

#### 4-3 重症低 Na 血症を合併した急性腎障害に対し 電解質調整した補充液を用い持続的血液透析濾過を施行した一例

○高橋 大輔 (Dr)<sup>1)</sup>、辻本 佳世<sup>1)</sup>、福森 あゆみ<sup>1)</sup>、小田 豪将<sup>1)</sup>、山脇 正裕<sup>1)</sup>、田中 文香<sup>1)</sup>、齋木 良介<sup>1)</sup>、小田 圭子<sup>1)</sup>、鈴木 康夫<sup>1)</sup>、村田 智博<sup>1)</sup>、片山 鑑<sup>1)</sup>、土肥 薫<sup>2)</sup>

1) 三重大学医学部附属病院 腎臓内科、2) 同 循環器内科

#### 4-4 ロキサデュスタットによる中枢性甲状腺機能低下症をきたした血液透析患者の報告

○本多 康裕 (Dr)、中西 道政、浦城 聡子、田之上 明子、吉村 平、村瀬 直人、村瀬 泰史、井阪 直樹

医療法人博仁会 村瀬病院

#### 4-5 亜鉛製剤服用中に銅欠乏性貧血を呈した血液透析患者の1例

○三谷 宜靖 (Ph)<sup>1)</sup>、川村 直人<sup>2)</sup>

1) 医療法人社団主体会 主体会病院 薬剤部、2) 同 内科

12:10~13:00 **ランチョンセミナー2**

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：石川 英二 先生 (済生会松阪総合病院 腎臓センター長)

### HIF-PH 阻害薬による腎性貧血治療の実際

安富 真史 先生 桑名市総合医療センター 腎臓内科 部長

13:30~14:10 **一般演題5 医師・薬剤師2**

座長：三宅 真人 先生 (四日市羽津医療センター 透析センター長)

#### 5-1 維持血液透析中の血友病 A 患者のシャント PTA 時に 第Ⅷ因子補充と抗凝固薬の調整が必要であった一例

○坂口 友浩 (Dr)<sup>1)2)</sup>、田中 文香<sup>1)3)</sup>、中嶋 和仙<sup>1)</sup>、東 憲人<sup>1)</sup>、畠中 節夫<sup>1)</sup>、下野 一子<sup>1)</sup>、田中 民弥<sup>1)</sup>

1) 医療法人田中病院 伊勢田中病院、2) 伊勢赤十字病院、3) 三重大学医学部附属病院

#### 5-2 5-FU による高アンモニア血症に対し血液透析を行った5例

○福森 あゆみ (Dr)、小田 豪将、辻本 佳世、山脇 正裕、田中 文香、齋木 良介、小田 圭子、鈴木 康夫、村田 智博、片山 鑑

三重大学医学部附属病院 腎臓内科

#### 5-3 亜鉛の過剰投与による銅欠乏で、汎血球減少をきたした透析患者の一例

○山川 聡子 (Dr)<sup>1)</sup>、松井 勇人<sup>2)</sup>、船山 華奈子<sup>2)</sup>、渡邊 麻衣子<sup>2)</sup>、野田 真理子<sup>2)</sup>、石川 英二<sup>2)</sup>

1) 松阪中央総合病院、2) 済生会松阪総合病院

## 5-4 当院におけるエコー下穿刺およびエコー下位置修正の現況

○外山 裕貴(Dr)、坪井 俊樹、中瀬 裕貴子、加藤 公浩、松岡 大樹  
市立四日市病院

14:10～15:10 一般演題6 災害・感染

座長：片岡 祐也 先生(津腎クリニック 臨床工学技士)

## 6-1 停電時の原因究明及び復旧に関する臨床工学技士の対応

○毛受 裕貴(CE)、三上 昌志、坂口 幸伸、坂田 久美子、伊與田 義信  
医療法人勢風会 津みなみクリニック

## 6-2 停電により支援透析を依頼した現状と今後の対策

○坂口 幸伸(CE)、三上 昌志、坂本 悠、堤 陽平、毛受 裕貴、稲垣 太亮、加藤 雄一、  
東 文香、中瀬 千幸、坂田 久美子、伊與田 義信  
医療法人勢風会 津みなみクリニック

## 6-3 新たな連絡手段の検討

—LINE 公式アカウントを導入して—

○岸田 誠(CE)<sup>1)</sup>、森 佑輔<sup>1)</sup>、岡田 麻希<sup>1)</sup>、伊藤 英樹<sup>1)</sup>、瀬田 直紀<sup>1)</sup>、川村 直人<sup>2)</sup>  
1) 医療法人社団主体会 主体会病院 透析センター、2) 同 内科

## 6-4 当院のBCPに基づく災害対策

○藤川 兼一(CE)<sup>1)2)</sup>、津留 喜美子<sup>1)2)</sup>、小寺 海里<sup>1)2)</sup>、松林 真那<sup>1)2)</sup>、小倉 脩平<sup>1)2)</sup>、  
草川 真麻<sup>1)2)</sup>、西川 みち子<sup>1)2)</sup>、貞光 梨沙<sup>1)2)</sup>、徳永 千賀<sup>1)2)</sup>、岩間 祐美子<sup>1)2)</sup>、  
長谷部 佑二<sup>1)2)</sup>、山本 和昇<sup>1)2)</sup>、出岡 悦子<sup>2)</sup>、中田 敦博<sup>2)</sup>、伊藤 英明子<sup>2)</sup>、  
岩島 重二郎<sup>2)</sup>、河出 恭雅<sup>2)</sup>、河出 芳助<sup>2)</sup>  
1) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック 災害対策委員会、2) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

## 6-5 人工透析用水供給の水源として井水を導入して

○北村 さくら(CE)、竹田 健吾、柳田 圭祐、鬼頭 佳史、藤川 兼一、山本 和昇、  
出岡 悦子、中田 敦博、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助  
医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

## 6-6 当院の血液浄化業務における COVID-19 対応の変遷

○荒川 範一(CE)、野田 英毅、向井 慎治、田添 裕章、森田 千夏、森野 侑樹、中村 実於、  
草川 隼  
松阪中央総合病院

### 7-1 透析時間延長を勧めるうえで大切なこと

- 藤波 玲奈(Ns)<sup>1)</sup>、村林 麻子<sup>1)</sup>、小林 薫<sup>1)</sup>、吉見 美穂子<sup>1)</sup>、伊藤 豊<sup>1)</sup>、河出 恭雅<sup>2)</sup>  
1)医療法人如水会 四日市腎クリニック、2)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

### 7-2 透析センター看護必要度の現状

- 野田 智子(Ns)、山際 佳代、山本 いつき、本多 晶子、小泉 奈保美  
特定医療法人同心会 遠山病院

### 7-3 高度聴覚障害患者のCKD 外来通院と透析導入への指導・コミュニケーションを経験して

- 西 奈穂子(Ns)、今井 妹津子、川波 かおり、山本 和昇、出岡 悦子、中田 敦博、  
伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助  
鈴鹿腎クリニック

### 7-4 保存的腎臓療法 (conservative kidney management : CKM) を選択した1例

- 川波 かおり(Ns)、今井 妹津子、西 奈穂子、中村 奈美、出岡 悦子、伊藤 英明子、  
岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助  
鈴鹿腎クリニック

### 7-5 最期を自宅で過ごすことを選択した高齢期の透析患者 ～意思を日常の看護から支える～

- 中野 洋子(Ns)、小野 孝美、増田 智広  
医療法人尚豊会 みたき総合病院

### 8-1 nPCR を参考に栄養指導した結果、栄養状態が改善した患者の一例

- 村上 清香(RD)、田川 久美子、北林 明代  
社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院 栄養管理課

### 8-2 当院維持透析患者への栄養介入

- 飯田 恵利(RD)、波部 尚美  
特定医療法人同心会 遠山病院

### 8-3 血液透析患者のフレイル評価法として基本チェックリストは有用か

○瀬古 征志(PT)<sup>1)</sup>、伊藤 卓也<sup>2)</sup>、瀬田 直紀<sup>3)</sup>、伊藤 英樹<sup>3)</sup>、平野 裕三<sup>1)</sup>、水谷 智恵美<sup>1)</sup>、川村 直人<sup>4)</sup>

1) 主体会病院 総合リハビリテーションセンター、

2) 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、

3) 主体会病院 透析センター、4) 主体会病院 内科

### 8-4 当院の血液透析患者における腎臓リハビリテーションの取り組み —療法士の立場から—

○岩田 航弥(PT)<sup>1)</sup>、杉野 達也<sup>1)</sup>、出口 美緒<sup>1)</sup>、根本 和門<sup>2)</sup>、堅谷 京子<sup>2)</sup>、古郡 和徳<sup>2)</sup>

1) 三重北医療センター菰野厚生病院 リハビリテーション科、2) 同 血液浄化センター

### 8-5 透析患者における骨密度と基本チェックリストの関係

○今岡 泰憲(OT)<sup>1)</sup>、岡田 直隆<sup>1)</sup>、松本 翔太<sup>1)</sup>、米村 重則<sup>2)</sup>

1) 松阪市民病院 リハビリテーション室、2) 同 泌尿器科

12:10～13:00 **ランチョンセミナー3**

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長：竹澤 有美子 先生(医療法人友和会 たけざわクリニック 院長・理事長)

## 進化する透析そう痒症治療 ～コルスバへの期待もふまえて～

高橋 直子 先生 医療法人あかね会 大町土谷クリニック 院長

14:20～15:10 **一般演題9 臨床工学技士2**

座長：波田 光司 先生(遠山病院 臨床工学技士)

### 9-1 在宅血液透析患者の個人用血液透析監視装置更新に伴う再訓練の経験

○神田 翔(CE)<sup>1)</sup>、藤田 佳樹<sup>1)</sup>、近藤 壮史<sup>1)</sup>、吉見 美穂子<sup>1)</sup>、小林 薫<sup>1)</sup>、中田 敦博<sup>2)</sup>、伊藤 英明子<sup>2)</sup>、伊藤 豊<sup>1)</sup>、岩島 重二郎<sup>2)</sup>、河出 芳助<sup>2)</sup>、河出 恭雅<sup>2)</sup>

1) 医療法人如水会 四日市腎クリニック、2) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

### 9-2 透析室教育チームの取り組み

○伊藤 章人(CE)<sup>1)</sup>、小野 孝美<sup>2)</sup>、中野 洋子<sup>2)</sup>、増田 智広<sup>3)</sup>

1) 医療法人尚豊会 みたき総合病院 診療部、2) 同 透析室、3) 同 内科

### 9-3 レボカルニチン投与における心機能に対する効果

○竹田 健吾(CE)、中田 敦博、柳田 圭祐、山本 和昇、伊藤 英明子、岩島 重二郎、河出 恭雅、河出 芳助

医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック

#### 9-4 当院における臨床工学技士への透析看護師業務シェア・シフトとその効果

○佐藤 将史(CE)<sup>1)</sup>、加藤 佳史<sup>1)</sup>、渡邊 智裕<sup>1)</sup>、服部 航也<sup>1)</sup>、高橋 大貴<sup>1)</sup>、戸登 昭良<sup>1)</sup>、  
広瀬 悟郎<sup>1)</sup>、野村 祐輝<sup>1)</sup>、山田 大<sup>1)</sup>、宮坂 佳裕<sup>1)</sup>、酒井 愛梨<sup>2)</sup>、安富 沙也加<sup>2)</sup>、  
木村 みほ<sup>2)</sup>、千原 淳史<sup>2)</sup>、田中 奈央子<sup>2)</sup>、宇佐美 俊介<sup>1)</sup>、小嶋 岳人<sup>1)</sup>、奥田 祐希<sup>1)</sup>、  
山口 翔<sup>1)</sup>、奥田 将<sup>1)</sup>

1)医療法人 永井病院、2)同 看護師

#### 9-5 透析室におけるタスクシフト／シェアの取り組み

○水井 宏幸(CE)、天野 有二、宮田 勝博、九鬼 弘和、山端 壮周  
社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院



# 三重県透析研究会 災害対策部会 活動報告

三重県透析研究会 災害対策部会

尾間 勇志 瀬田 直紀 九鬼 弘和  
安富 眞史 米村 重則 小藪 助成

災害時の人工透析提供体制確保について2007年に厚生労働省より通達があり、同年から三重県透析施設災害対策委員会が立ち上げられ、これまで災害対策活動をおこなってきました。これに代わり、この度2023年7月に三重県透析研究会の部会として災害対策部会を立ち上げ、引き続き災害対策活動をおこなっていくこととなりました。

現在、県内61施設の透析施設が三重県透析研究会に加入しています。災害対策部会では災害対策についてこれまで会合を重ね、災害時メーリングリストを構築し各施設の災害担当者とその連絡先の確認、更新を定期的におこないました。登録には施設のパソコンのメールアドレスでは災害時に対応できかねるため、災害時に早期に対応できるメールアドレスの登録を依頼し、被災したと仮定する施設を決め訓練をおこないました。災害時には何とか自施設の状況を報告し、透析可能施設、透析不可能施設、透析難民の情報を収集し対策に役立てたいと考えています。

今回、これまでの活動について報告させていただきます。

施設間、地域間の温度差をなくしながら災害に相互に協力できるような体制が必要になります。平時から人と人とのつながりがないと災害時に実際の円滑な活動につなげることは困難です。今後とも三重県透析研究会災害対策部会の活動にご理解、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

## 特別講演・教育講演のご案内

### 特別講演

第1会場（1F 多目的ホール）

13:20～14:10 座長：医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長 伊與田 義信 先生

## シャント管理の基本的な考え方を マスターしよう

飯田橋春口クリニック 院長  
春口 洋昭 先生

### 教育講演

第1会場（1F 多目的ホール）

11:00～11:50 座長：医療法人勢風会 津みなみクリニック 総看護師長 坂田 久美子 先生

## はじめよう！シャントエコー

関西労災病院 中央検査部  
小林 大樹 先生

# ランチョンセミナーのご案内

## 第1会場 (1F 多目的ホール)

12:10～13:00 **ランチョンセミナー1**

共催：鳥居薬品株式会社

座長：片山 鑑 先生 (三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部 病院教授)

### 腎性貧血治療の発展と課題 ～服薬管理がより重要な時代へ～

医療法人原三信病院 腎臓内科部長

満生 浩司 先生

## 第2会場 (2F セミナー室 A)

12:10～13:00 **ランチョンセミナー2**

共催：田辺三菱製薬株式会社

座長：石川 英二 先生 (済生会松阪総合病院 腎臓センター長)

### HIF-PH 阻害薬による腎性貧血治療の実際

桑名市総合医療センター 腎臓内科部長

安富 眞史 先生

## 第3会場 (3F セミナー室 C)

12:10～13:00 **ランチョンセミナー3**

共催：キッセイ薬品工業株式会社

座長：竹澤 有美子 先生 (医療法人友和会 たけざわクリニック 院長・理事長)

### 進化する透析そう痒症治療 ～コルスバへの期待もふまえて～

医療法人あかね会 大町土谷クリニック 院長

高橋 直子 先生

# 企業展示のご案内

展示会場（2F セミナー室B）

10:00～15:00

## 〈展示出展企業〉

- 旭化成メディカル株式会社
- 株式会社カネカメディックス
- 協和キリン株式会社
- 株式会社ジェイ・エム・エス
- 東レ・メディカル株式会社
- ニプロ株式会社
- 扶桑薬品工業株式会社
- メディキット株式会社

（五十音順）

透析関連の機器・機材・薬品・食材などを展示しております。  
情報収集・交換の場にお役立てください。

一般演題  
抄 録

## 1-1 シャントマップ作成により 穿刺ストレス軽減への取り組み

○河田 満貴(CE)<sup>1)</sup>、三浦 真<sup>1)</sup>、森 寛貴<sup>1)</sup>、  
江角 浩安<sup>2)</sup>

1) 国民健康保険志摩市民病院 医療技術科 透析室

2) 同 内科

**【目的】** 当院では透析専従の看護師(以下、Ns)がいなかった為、以前は臨床工学技士(以下、CE)のみでの穿刺を行っていた。しかし、患者数増加等の点からNsも穿刺を行なっていく事となったが穿刺に対するストレスがあるという意見が多かった。そこでシャントマップを作成し、活用する事により穿刺ストレス軽減が出来たので報告する。

**【方法】** 日本臨床工学技士会が作成したバスキュラーアクセス日常管理指針を参考にシャントエコーで評価を行い簡易的な穿刺部位や血管走行等を記載したシャントマップを作成する。作成したシャントマップを参考に、穿刺を行ない評価した。

**【結果】** シャントエコーで形態評価と機能評価を行い簡易的な穿刺部位や血管走行など記載したシャントマップを作成する事が出来た。シャントマップ作成前後で穿刺に関するアンケート調査を行い、シャントマップ作成後に穿刺ストレスが軽減したという意見が多かった。

**【結論】** シャントマップを導入したことにより、穿刺ストレスが軽減された。今後も、穿刺ミスを減らしスタッフ及び患者のストレス軽減に努めていきたい。その一環として、エコー下穿刺も必要に応じて行なっていきたいと考えている。また今回のシャントマップ作成よりCEによるシャントエコーを実施する事となり、今後は定期的なシャントエコーを実施していきより良いシャント管理に努めていく。

## 1-2 コニカミノルタ社製 ポータブルエコー MX1αの 有用性

○栗原 拓夢(CE)、福田 颯、岩戸 大、  
水谷 歩夢、日比 雅人、山中 伸吾、柴田 洋、  
小切間 猛史、山谷 美紗、長岡 里佳、  
板垣 正幸、三宅 智紀、波田 光司、  
笹井 直樹

特定医療法人同心会 遠山病院

**【はじめに】** VA管理においてシャントエコーによる形態評価やFV、RIといった機能評価は重要な指標である。

当院では透析中にベッドサイドでシャントエコーを行っており、ベッド間隔は1m程である。現在使用しているエコー装置の大きさはベッドサイドで操作するのに扱いづらく、起動が遅いため検査に時間を要してしまう。また、年間のシャントエコー件数はのべ1,000件程度、1日4、5人程であり、VAIVT歴がある患者を中心に全患者をスクリーニングしている。

測定アシスト機能を持つコニカミノルタ社製ポータブルエコーMX1αの使用する機会を得た。

**【目的】** MX1αと従来の装置を比較し評価する。

**【方法】** 従来の装置とMX1αで機能評価を実施し、測定結果と所要時間、また移動やセッティング等の使用感を比較検討した。

**【結果】** 測定結果は両機種で大きな差は認めなかったが、所要時間はMX1αの方が短縮されており、測定者間の差も小さくなった。

**【考察】** 従来の装置と比較し、MX1αは軽量、コンパクトであることから、ベッドサイドでのセッティングや起動がスムーズであり、所要時間の短縮に繋がったと思われる。また、血管径計測位置やサンプルサイズなどを最適化できることから、設定や微調整を手動で行う必要が無い。その為、シャントエコー経験年数に関わらず測定者間の所要時間差を小さくしたと推測する。

**【結語】** ベッドサイドのシャントエコーに対し、ポータブルエコーMX1αは有用である。

## 第60回三重県透析研究会学術集会 プログラム

---

当番幹事：伊與田 義信 医療法人勢風会 津みなみクリニック 理事長

事務局：三重県透析研究会  
三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部内  
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174  
TEL：059-231-5403 FAX：059-231-5569  
E-mail：renal@med.mie-u.ac.jp

出版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>

